

事務事業名		簡易水道原水浄水維持管理事業		会計		簡易水道		実施区分			
H28担当課等名		水道課		H28係等名		維持係		H27係等名		維持係	
基本計画上の位置づけ		政策 4		暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり		施策 45		居住基盤の向上			
目的	対象(誰・何を)	市営簡易水道事業						対象指標	指標名及び単位	27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	適正に原水浄水施設を維持管理することにより、公衆衛生の向上と生活・事業基盤の向上を図る							簡易水道事業数	1	
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度									
目標	種別	指標名及び単位				27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	適正に維持管理された施設数 / 全施設数 × 100%				100	100	100	-		
	定性目標										
事業概要	原水浄水施設を適正に維持管理することにより、水道法に定められた給水水質を満たした安全安心な水道水を安定的に供給する。										
27年度事業内容	事業内容					名称			活動指標		
	1 原水浄水施設維持管理 2 水質定期検査 3 水質毎日検査(3項目)					1 浄水配水施設数 2 定期検査箇所数 3 毎日検査箇所数			1 52箇所 2 45箇所 3 23箇所		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		46,313	49,820	42,957	50,048						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他		12,694	14,515	11,774	19,973						
一般財源		33,619	35,305	31,183	30,075						
人件費計(千円)②		1,144		1,144							
正規職員所要時間		320		320							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		47,457	49,820	44,101	50,048						
事業内容・目標達成状況の振り返り	適正な施設維持管理ができ、安全安心な水道水を安定的に供給できた。										
改革改善の考え方	①問題点	水道事業は専門技術、知識、経験が必要であり、熟練した職員の養成が必要である。									
	②改革提案	水道職員の適正な経験年数と適正人員の確保。									